

普及活動検討会実施報告書

気仙沼農業改良普及センター

実施月日：令和4年9月1日

実施場所：気仙沼合同庁舎オープンラボ

1 検討内容

No	検討項目
1	プロ課題 No. 1 「市場等ニーズに応じた花き・花木生産による経営発展」
2	プロ課題 No. 2 「いちごの栽培技術レベルアップによる収量向上」
3	プロ課題 No. 3 「持続的な地域営農の実現に向けた担い手の経営安定」

2 検討委員の構成

(単位：人)

区分	人数	区分	人数
先進的な農業者	1	生活者	1
若手・女性農業者	1	学識経験者	
市町村	2	マスコミ	1
農業関係団体	1	民間企業	

3 委員の評価と普及センターとしての対応方向

検討項目	評価値 平均値	評価結果（コメント、評価表の要約）	普及センターとしての対応方向
プロ課題 No. 1 「市場 等ニーズに 応じた花き ・花木生産 による経営 発展」	4.4	<ul style="list-style-type: none">・当地域から宮城県全体に展開しているのは素晴らしい。・人手などの課題はあるが、今年からの本格出荷で軌道に乗せ経営安定、生産拡大を図ってほしい。・今年度から本格的に収穫するとのことで、収益面での評価が期待される。・計画どおりに作付拡大が図られれば耕作放棄地、遊休農地の活用推進に繋がると思う。今後の指導に期待する。	<ul style="list-style-type: none">・労働力の確保が課題ですが、人材派遣会社の活用や作業機械の導入を支援するとともに、他品目の導入による周年雇用の確保を図ってまいります。・収益性を評価して今後の産地拡大に繋げてまいります。
プロ課題 No. 2 「いち ごの栽培技 術レベルア ップによる 収量向上」	4.6	<ul style="list-style-type: none">・栽培技術の向上に向けた細やかな取り組みが行われており、今後の収量アップが期待できる。・今年度から新規に加入した生産者がおり、ニーズに合った課題であったと考える。・若手生産者が取り組んでおり今後も支援をお願いする。・今後とも生産者間の交流や研修等により収量の増大を期待する。	<ul style="list-style-type: none">・いちご収量の向上に向け、引き続き巡回指導、先進地視察等を行い、生産者間交流や栽培技術向上を図ってまいります。・令和4年産の収量実績や令和5年産の収量目標、普及センターへの要望等について、対象生産者に対してアンケート調査を実施しており、アンケート結果を今後の活動内容に反映させてまいります。

検討項目	評価値 平均値	評価結果（コメント，評価表の要約）	普及センターとしての対応方向
プロ課題 No. 3 「持続的な地域営農の実現に向けた担い手の経営安定」	4.1	<ul style="list-style-type: none"> ・地域営農の課題をアンケートにより抽出することにより客観的な意見を確認できた。 ・今後，もう一步踏み込んだ提案が必要なのではと考えさせられた。JA も一緒に頑張っていきたい。 ・中心となる担い手に負荷がかかり過ぎないように，さらなる担い手育成をお願いする。 ・中山間地農業の究極的な課題である後継者問題や持続的な農業経営に向けた支援等，非常に難しい問題に取り組んでいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・組合員アンケートの結果や今後行う組合オペレーターへの調査を基に話し合いを行い，関係機関と一緒に将来の方向性について検討し，ビジョン作成に向けて支援してまいります。 ・組合オペレーターが経営する園芸品目について，収益性や労働時間に基づく作付品目の検討を行いながら，農業経営の改善を図ってまいります。